



九州歯科大学 図書館だより NO.44

後期試験や歯科医師国家試験も終わり、あとは歯科衛生士国家試験を残すのみとなりました。それに伴い図書館の利用者も少なくなり、館内の喧噪感も減ってきています。在校生の皆さんには読書に適した時期です。前回の図書館だよりで紹介されているように今年も選書ツアーで62冊の面白い本を購入していますので是非覗いてみてください。きっと落ち込んだ気分を盛り上げてくれる一冊があります。



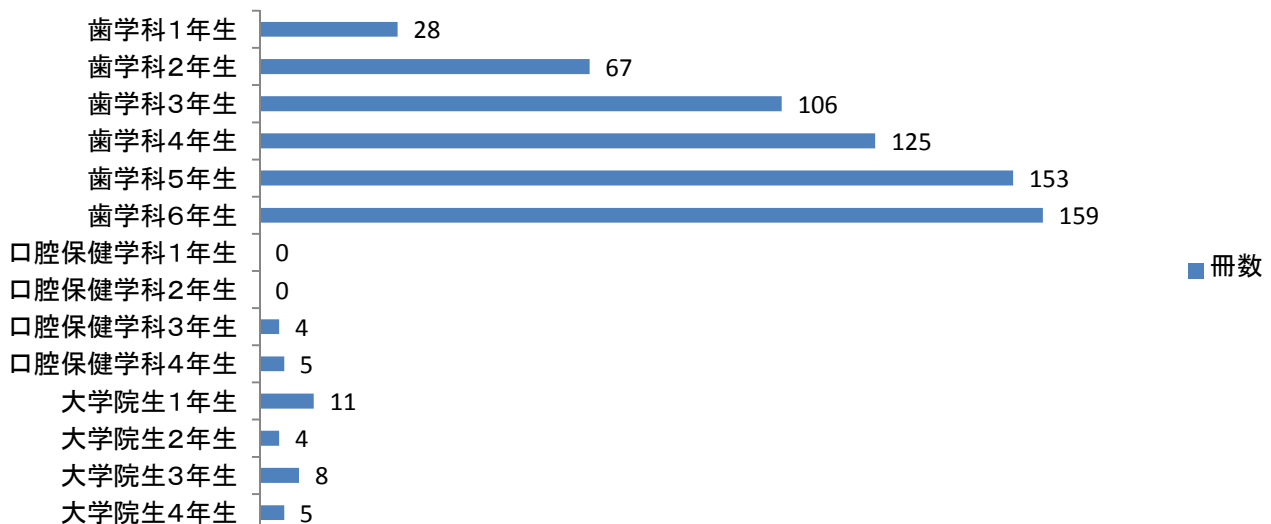
図書館運営部会 園木一男

貸出ランキング 2014.1

- 1位 シンプル薬理学 / 野村隆英, 石川直久編
- 2位 パーシャルデンチャーテクニック / 野首孝祠 [ほか] 編
- 3位 クラウンブリッジ補綴学 / 石橋寛二 [ほか] 編; 會田雅啓 [ほか] 執筆
- 4位 加齢・補綴・補綴総論 加齢変化 全部床義歯学 部分床義歯学 冠橋義歯学 / 麻布デンタルアカデミー編
- 5位 歯科国試answer; 全部床義歯, 部分床義歯 / DES歯学教育スクール編
- 6位 パーシャルデンチャーテクニック / 野首孝祠 [ほか] 編
- 7位 エッセンシャル麻酔科学 / 岡田和夫編
- 8位 必修 / 麻布デンタルアカデミー編
- 9位 保存・保存修復学 歯内療法学 歯周病学 / 麻布デンタルアカデミー編
- 10位 小児・矯正・成長・発育 小児歯科学 歯科矯正学 / 麻布デンタルアカデミー編



貸出冊数(1月)



2013年第3回選書ツアーのおすすめ本を紹介します



『ジヴェルニーの食卓』 原田ハマ

絵画解説本等に書かれた画家の生涯に関する文章は読むに退屈で頭に残らず、絵画の鑑賞とは全くリンクしませんでした。この本は、マティス、ピカソ、ドガ、セザンヌ、ゴッホ、モネなど印象派・キュビズムの巨匠達の生涯の一端を、彼らと何らかの関わりがあった人々（特に女性）の視点から捉えた興味深い4編の短編集で、作品自体が絵画の小品のようで美しく、常に手元において絵画を鑑賞したいと思わせる珠玉の1冊だと思いました。

『愛が遺伝子スイッチON』 村上和雄

このタイトル、「はあ？何言ってるの。新しい宗教のキャッチコピー？」と思いませんか。著者はあのレニン・アンギオテンシン系のレニンの遺伝子解析に世界で初めて成功したscientistでした。イチローの大リーグでの成功や不治の病からの奇跡の回復を、愛や祈りそして笑いといった心理作用と遺伝子発現の関係から説明しています。非常に興味深い現象です。本書後半はグレート・サムシングという概念がでてきて認める認めないは読者にお任せですが、それでも読めば、何かしら元気になれる内容でした。なので、落ち込んでいる時や人生に迷っている時に読むといいかも。



『食品の裏側』 安部司

食品添加物の元トップセールスマンが書いた本なので、とても説得力があります。この本を読んでから、時々食べていたカップラーメンを買う気にはなりません。とんこつスープは、白い粉だけで出来ていたり、ミートボールは、腐食寸前の肉を固めていたり、今まで何気なく食べていたものに、どれだけ添加物が入っているのか、またその製造方法を知れば、食生活を考えさせられます。それだけにこの本に少しでも興味を抱いた方には、是非とも読んでほしい一冊です。



『オレたちバブル入行組』 『オレたち花のバブル組』 池井戸潤 『ロスジェネの逆襲』

ドラマで大ブレイクした『半沢直樹』の原作本です。小説を一度読み始めると次の展開が気になり、一気に読んでしまうほど、面白い作品です。ドラマを見た方も、見ていない方もぜひ小説を読んでみてください。読んだ後はスカッとした気分になります。